

# 北日本漁業経済学会 ニュースレター

第45回大会開催日が迫ってきました。当日のプログラムをお知らせします。本大会では福島県、地産地消運動促進ふくしま協同組合協議会等の後援を得て、2つのシンポジウムを実施します。皆さんのお力添えを得て有意義な大会にしたいと思いますので宜しくお願いいたします。大会はシンポジウム、懇親会、一般報告とも全て公開（自由参加）となっております（ただし総会は会員のみ）。会員内外を問わず、多数の皆様の参加を期待しております。

## 北日本漁業経済学会

### 第45回大会 福島大会直前案内号

後援：福島県、地産地消運動促進ふくしま協同組合協議会、福島県漁業協同組合連合会

福島県生活協同組合連合会、生活協同組合コープふくしま、北海道漁業協同組合連合会

#### 1. 大会日程

2016年9月22～24日 於；福島市コラッセふくしま

9月22日（木）	18：00～20：00	理事会
* 理事会会場；コラッセふくしま会議室		
9月23日（金）	8：30～	開場・受付開始
	9：00～12：00	シンポジウム午前の部
	13：00～17：30	シンポジウム午後の部
	18：00～19：30	懇親会



討 論

11:20-12:00

**【午後の部：プログラム】**

**●原子力災害下の試験操業の取り組みと漁村の展望**

13:00-17:30

コーディネーター：濱田武士（北海学園大学）・林 薫平（福島大学）

司会：宮沢晴彦（北海道大学）

解題：原子力災害がもたらしている漁業復興の問題

13:05-13:20

濱田武士（北海学園大学）

福島県漁業の被害と試験操業の展開

13:20-13:45

八多宣幸（福島県漁連復興対策チーム）

試験操業における検査・流通問題と消費対策

13:45-14:10

林 薫平（福島大学）

<休憩10分>

トリチウム汚染水問題～住民目線から海洋放出案と水蒸気放出案の是非を問う 14:20-14:45

野中俊吉（コープふくしま専務理事・トリチウムタスクフォース委員）

福島県下の被災漁業者の動向

14:45-15:10

乾 政秀（水土舎）

浪江町の水産復興の現状と経過

15:10-15:35

阿高麦穂（東京海洋大学大学院）

<休憩10分>

コメント； 佐藤一夫（福島県生協連専務理事）

15:45-16:00

総合討論

16:00-17:30

**懇 親 会**

18:00-19:30

**\*会場；コラッセふくしま最上階・レストラン「きいちご」**

### 3. 一般報告・総会

9月24日（土）

宮城県養殖ギンザケの生産復興状況と流通課題

9:00-9:25

清水幾太郎（北水研）・樽井義和（東北水研）・高橋義文（九大）

尖閣諸島を漁場とする日本漁船の操業と経営の課題

－底魚一本釣り漁業に注目して－

9:25-9:50

佐々木貴文（鹿児島大学）

栽培漁業の展開と都道府県三セク法人

9:50-10:15

中村彰男（秋田県栽培漁業協会）

<10分休憩>

シジミ漁業管理の経営経済的有効性に関する検証

－網走湖シジミ漁業を事例として－

10:25-10:50

山崎優輔（北海道大学大学院）・宮澤晴彦（北海道大学）・藤井陽介（水産大学校）

第2期に入った「太平洋クロマグロ資源管理」

10:50-11:15

上田克之（水産北海道協会）

寡占化する国際サケ市場と多様化する日本の地域サケ市場

11:15-11:45

清水幾太郎（北水研）・玉置泰司（中央水研）・棧敷孝浩（中央水研）・松浦勉（中央水研）

**総 会**

11:50-12:40

### 4. 事務局からのお知らせ

#### ① 理事会の開催

第45回大会期間中、下記の通り理事会を開催します。理事、監事の方はご参席下さい。

**<理事会>** 日時；9月22日（木） 18：00～20：00

会場；福島市コラッセふくしま・会議室

\*なお、理事・監事の方は下記の通りです。

理 事 二平 章，宮澤 晴彦，上田 克之，古林 英一，片山 知史，濱田 武士，

清水 幾太郎，柳田 洋一，佐々木 貴文，長谷川健二，石川 傑

大野 宣和, 中村 彰男, 渡邊 一功, 山崎 誠, 三木奈都子, 宮入 隆  
服部 昭, 大串 伸吾

監 事 山下 成治, 田尾 直之

## ②食事・宿泊など

ホテルの斡旋等はありません。各自手配して下さい。また、理事会での弁当の用意もありませんので、ご注意下さい。

## ③一般報告の時間等

一般報告の時間は、1人25分（**報告20分、質疑5分**）です。各自の報告時刻については上記プログラムをご覧ください。

報告用のレジメ・資料等は各自で50部程度ご用意下さい。また、パワーポイントを使用する場合、パワーポイントの原稿そのものを必ず配付資料として当日50部提出するようお願いいたします。準備の程、宜しくお願いします。

## ④学会誌投稿原稿の提出締め切りについて

学会誌に投稿される原稿は、2017年1月末日を目途に、下記宛て、メール添付で送付していただくようお願いいたします。

宛先；北日本漁業経済学会編集委員会事務局（水産大学校内）

[kitanihon@fish-u.ac.jp](mailto:kitanihon@fish-u.ac.jp)

北日本漁業経済学会事務局（事務局長；宮澤晴彦）

〒041-8611 函館市港町3-1-1

北海道大学大学院水産科学研究院（水産経営研究室）

TEL 0138-40-8834

E-mail [miyazawa@fish.hokudai.ac.jp](mailto:miyazawa@fish.hokudai.ac.jp)